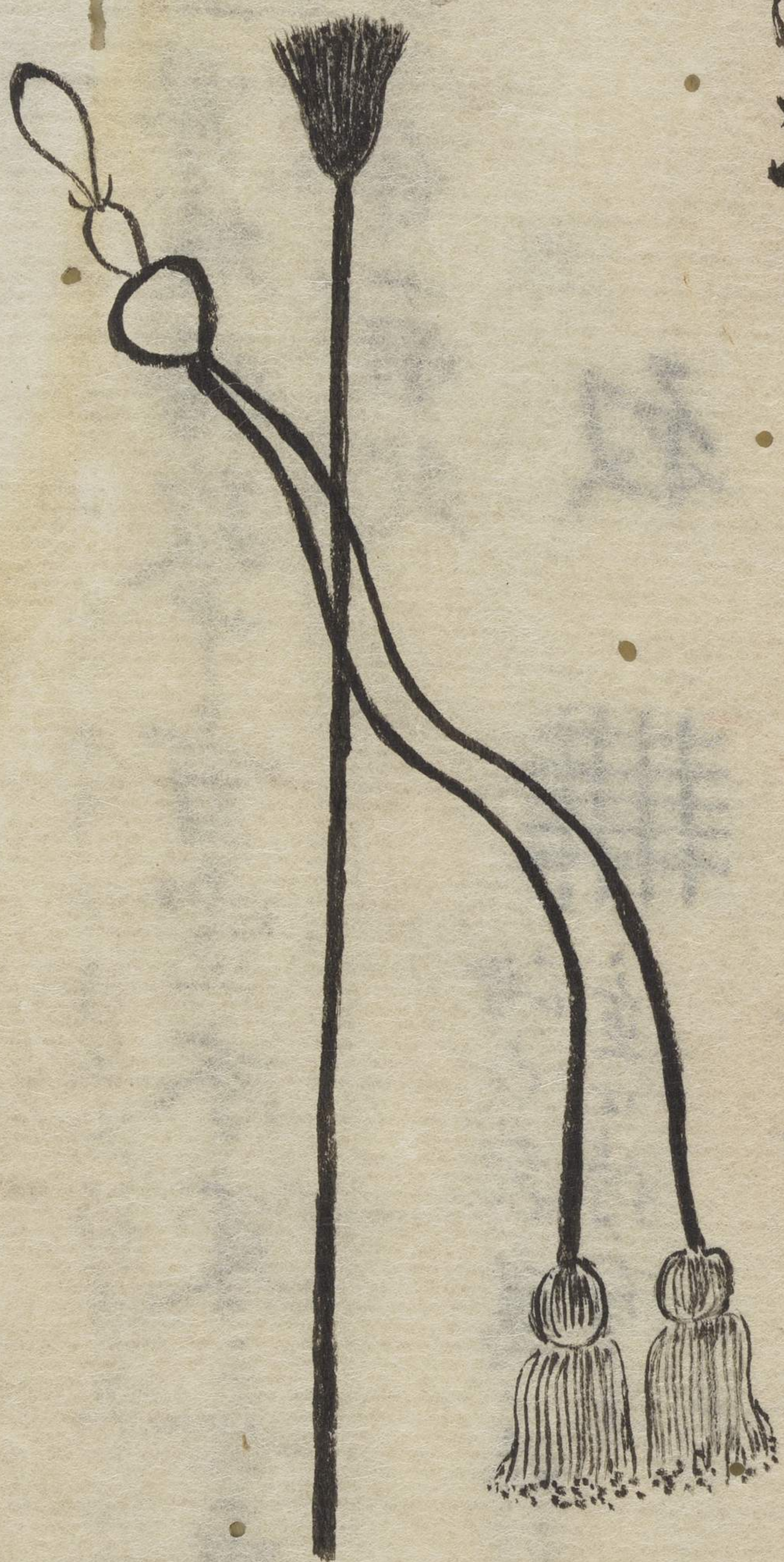


一 鷹志の次



ツハ少らの上らんぢ成沁くさうかん字かきさる事後
かくのツく兼と上字の上かめられ何色も文よりかくのツく
文成ともあれ二々度とみ入ん是を二の四か初流也